

ネット詐欺報告数は 3.7 倍増加
手口は EC からクレカが顕著に
～2022 年上半期（2022 年 4～9 月）インターネット詐欺レポート～

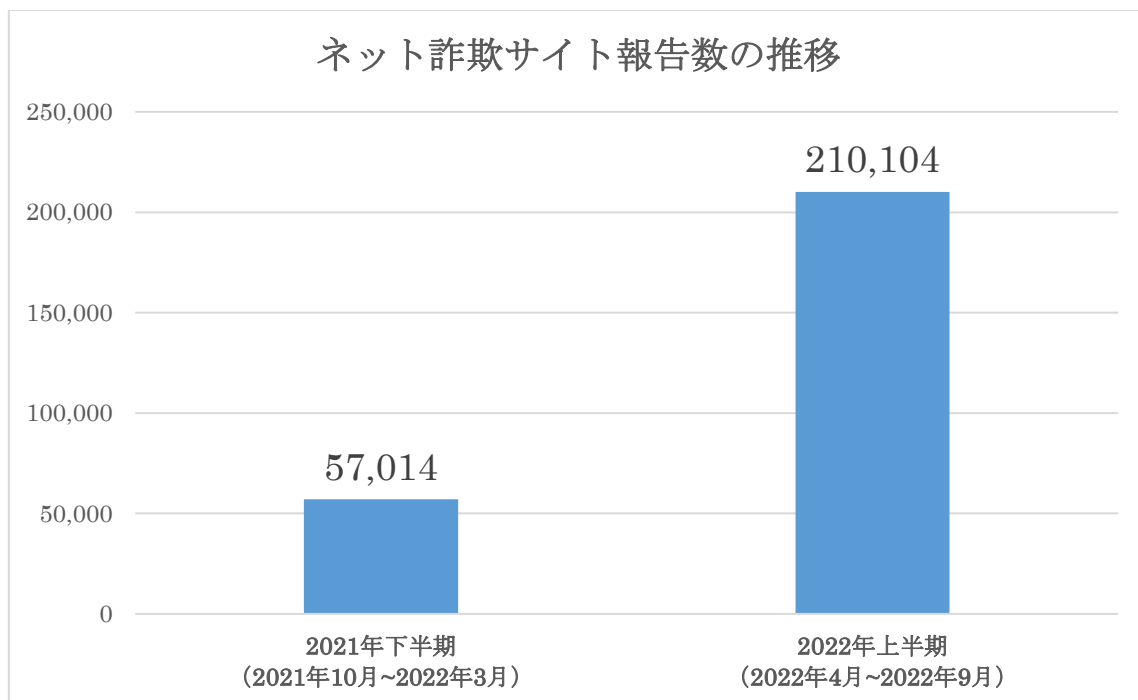
2022 年上半期（2022 年 4～9 月）もさまざまなインターネット詐欺が登場しました。そこで 2022 年 4～9 月までの上半期インターネット詐欺がどのような傾向であったか紹介する「2022 年上半期インターネット詐欺レポート」を発表いたします。

（目次）

- フィッシング報告数の推移
- インターネット詐欺手口の変化
- 狙われたサービスはクレジットカード
- 2022 年上半期のブランドランキング
- まとめ

■フィッシング報告数の推移

官公庁やセキュリティ団体から報告された詐欺サイト数は、以下のようにになりました。2021 年下半期と比較すると 3.7 倍に増加、特にクレカ向けフィッシング詐欺サイトの報告数が急増しています。



■インターネット詐欺手口の変化

2021 年下半期はコピー・粗悪品の販売や商品を買っても送ってこない手口である偽販売違法販売の手口が 5 割を占めていましたが、2022 年 4~9 月はフィッシング詐欺サイトの構成比が 11.6 ポイント上昇しています。また 2022 年 8 月に日本郵政を騙り偽アプリをインストールさせるの手口の報告が増加、2022 年上半期の構成比が上昇しています。

	2021 年下半期 (2021 年 10 月~2022 年 3 月)	2022 年上半期 (2022 年 4 月~9 月)
フィッシング	48.02%	59.59%
偽販売違法販売	51.52%	31.91%
ワンクリック詐欺/不当請求	0.02%	0.12%
Web 改ざん	0.01%	0.00%
偽ソフトウェア	0.13%	8.33%
公文書違反	0.00%	0.00%
著作権侵害	0.30%	0.05%
違法行為	0.01%	0.00%

・日本郵政を騙ったサイト



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■狙われたサービスはクレジットカード、EC サイトや Web サービスは減少

サービス別にみると、今まで多かった携帯キャリアや EC サイトの構成比は減少しており、クレジットカードの割合が 11 ポイント増加しています。

	2021 年下半期 (2021 年 10 月~2022 年 3 月)	2022 年上半期 (2022 年 4 月~2022 年 9 月)
クレジットカード／ファイナンス	26.43%	67.46%
銀行	1.79%	13.51%
その他	0.21%	5.21%
EC サイト	32.85%	4.53%
携帯キャリア	21.89%	4.52%
Web サービス	14.56%	4.07%
プロバイダ	1.55%	0.27%
ポータルサイト	0.04%	0.19%
Web メール	0.11%	0.09%
SNS	0.31%	0.08%
仮想通貨	0.17%	0.04%
クラウドサービス	0.04%	0.02%
Web メールユーザ	0.01%	0.00%
株／証券	0.01%	0.00%
出会い系	0.00%	0.00%
オンラインゲーム	0.01%	0.00%
フィッシングリンク	0.01%	0.00%

■2022 年上半期のブランドランキング

2022 年上半期はクレジットカードのフィッシング詐欺サイトが多数ランクインしています。2021 年下半期は、サービスサイトや携帯キャリアのサイト、EC サイトなど様々なサイトがランクインしていましたが、2022 年に入りクレジットカード系のサイトが多数報告されています。また 2022 年 9 月に三井住友銀行のフィッシング詐欺サイトの報告数が増加し、ランクインしています。

	2021 年下半期 (2021 年 10 月~2022 年 3 月)	割合	2022 年上半期 (2022 年 4 月~9 月)	割合
1	au	16.08%	三菱 UFJ ニコス	55.41%
2	Amazon	15.30%	三井住友銀行	13.72%
3	メルカリ	14.61%	三井住友カード (Vpass 含む)	7.30%
4	三井住友カード (Vpass 含む)	13.90%	国税庁	4.64%
5	ETC 利用照会サービス	3.28%	au	4.58%
6	Apple ID	3.01%	Amazon	2.03%
7	SoftBank	2.99%	SAISON CARD	1.83%
8	NTT docomo	2.66%	イオンカード	1.52%
9	JCB	2.45%	えきねっと	1.50%
10	VISA	2.40%	メルカリ	1.33%

■まとめ

2022 年上半期は、2021 年後半に比べ詐欺サイトの報告数が大きく増加しています。またターゲットとなるサービスもあからさまに変わりクレジットカードを狙ったフィッシング詐欺サイトに移行しています。最近のクレジットカードのフィッシング詐欺の増加は、18 歳からのカード申し込みなど新規ユーザーが増えることを狙ったことも想定されますが、今後どういったサービスが狙われるか？どういう手口が増加していくか？は規則性がないため予想が難しく、様々なサービスや商品でフィッシング詐欺の可能性がある意識し注意していく必要があります。また現在、見た目でフィッシング詐欺サイトを見抜くのは非常に難しく、メール文言や URL、サイトに書かれている内容は自分で判断せずに、アプリでサービスを利用する、過去利用してブックマークしておいた URL からアクセスすることを意識するだけで、被害の拡大を防ぐことができます。

■詐欺サイトを無料で診断「詐欺サイトチェッカー」

日々増加するインターネット詐欺、詐欺サイトかどうかをチェックできるサービス「詐欺サイトチェッカー」を提供開始しました。詐欺ウォールが独自で収集した詐欺サイトのブラックリストと各官公庁から通報のあった詐欺サイトのブラックリストを元に無料で気になるサイトをチェックします。

サイト URL:<https://checker.sagiwall.jp/>

■「詐欺ウォール® / Internet SagiWall™」について

日本人を標的とするネット詐欺サイトをブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。ウェブブラウザでサイト閲覧中の不用意に悪意のあるサイトにアクセスした場合でも、コンテンツをリアルタイムで検査し自動的にブロックします。ウイルス対策ソフトでは検知が難しい巧妙な詐欺サイトであっても独自の AI 検知技術で高い精度で検出するため、ウイルス対策と併用することでユーザーの安全を高めます。パソコンやスマートフォンの利用に慣れていない方でも、簡単に利用でき、サイバー犯罪被害を未然に防ぐことができます。

※詐欺ウォール®は、iOS、mac OS、Windows®、Android™版を提供しています。

<詐欺ウォール® / Internet SagiWall™製品サイト URL>

<https://www.sagiwall.jp/>

■BB ソフトサービス株式会社について

ソフトバンクグループにおいて、セキュリティ製品を主軸とするソフトウェアサービスを、ISP や携帯電話会社などの通信事業者を通じて提供しています。サービス提供のみならず、フィッシング対策協議会やその他の社外団体を通して情報セキュリティに関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。一般消費者のサイバー犯罪被害を減らし、よりよいインターネット利用環境を全てのユーザーに提供することで社会貢献を果たしてまいります。

<会社概要>

社名： BB ソフトサービス株式会社

所在地： 東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝
社長： 代表取締役社長 兼 CEO 瀧 進太郎
設立日： 2006 年 1 月 17 日
株主： SB C&S 株式会社 100%
事業内容： ブロードバンドを利用したコンシューマー・SOHO 用アプリケーションサービス、および
オリジナルアプリケーションサービスの企画・開発・販売・運営
URL： <https://www.bbss.co.jp/home.html>

<お問い合わせ先>

BBSS 広報事務局

担当：池谷、松村、阿彦、建部

bbsspr@bbss.co.jp